



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,771	△5.2	2,375	△24.0	2,436	△22.4	1,562	△11.2
29年3月期第3四半期	35,608	△12.1	3,126	△50.2	3,140	△50.6	1,758	△56.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,673百万円 (0.4%) 29年3月期第3四半期 1,666百万円 (△59.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	90.48	—
29年3月期第3四半期	101.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	39,375	26,243	62.7
29年3月期	38,206	25,102	61.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 24,688百万円 29年3月期 23,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
30年3月期	—	12.50	—		
30年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△11.2	4,400	△17.9	4,570	△12.7	2,900	43.3	168.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	18,623,520株	29年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,345,941株	29年3月期	1,363,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	17,267,223株	29年3月期3Q	17,260,454株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬B I P信託」及び「株式付与E S O P信託」が保有する当社株式（30年3月期3Q281,180株、29年3月期300,000株）が含まれております。

また、「役員報酬B I P信託」及び「株式付与E S O P信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（30年3月期3Q291,908株、29年3月期3Q133,333株）。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 本資料の発表日現在において、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第3四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	35,608	33,771	△1,836	△5.2
営業利益	3,126	2,375	△750	△24.0
経常利益	3,140	2,436	△704	△22.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,758	1,562	△196	△11.2

〔経済状況〕

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調が継続いたしましたが、依然として海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などに留意すべき状況が続いております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入337億7千1百万円（前年同四半期比5.2%減）、営業利益23億7千5百万円（前年同四半期比24.0%減）、経常利益24億3千6百万円（前年同四半期比22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億6千2百万円（前年同四半期比11.2%減）となり、前年同四半期に比べ、イベント収入は増加しましたが、音楽パッケージ販売の減少や印税収入（新譜・旧譜）の減少などにより減収減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（コンサート）は増加
- ・ 商品売上収入（音楽パッケージ、グッズ・商品収入）が減少
- ・ 印税収入（新譜・旧譜）が減少

上記要因などにより減収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

特別利益の計上による増益要因はありましたが、販売費及び一般管理費の増加などにより減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	30,284	28,998	△1,285	△4.2
メディアビジュアル事業	1,240	1,125	△115	△9.3
コンテンツ事業	2,378	1,921	△457	△19.2
プレイスマネジメント事業	1,704	1,726	22	1.3
合計	35,608	33,771	△1,836	△5.2

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	3,699	2,595	△1,103	△29.8
メディアビジュアル事業	△12	△49	△36	—
コンテンツ事業	999	691	△308	△30.9
プレイスマネジメント事業	△841	△7	833	—
調整額	△719	△854	△135	—
合計	3,126	2,375	△750	△24.0

[アーティストマネジメント事業]

営業収入289億9千8百万円(前年同四半期比4.2%減)、セグメント利益25億9千5百万円(前年同四半期比29.8%減)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入: <コンサート>
 - 桑田佳祐(10月-12月)、星野源(5-9月)、ONE OK ROCK(4-5月)、flumpool(5-12月)、ポルノグラフィティ(11-12月)のコンサートツアー
 - 福山雅治 冬の大感謝祭 其の十七(12月)
 - Perfume Fes(6月・9月)
 - BABYMETAL 5大・巨大キツネ祭り in JAPAN(7-10月)、
 - LEGEND-S-洗礼の儀(12月)
 - 高橋優 秋田CARAVAN MUSIC FES(9月)
 - DEAN FUJIOKA History In The Making(7月)
 - Amuse Fes in MAKUHARI 2017(6月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、福山雅治シングルCD
- ・ 印税収入(新譜): 桑田佳祐(アルバムCD)、星野源(シングルCD)
 - Perfume、BABYMETAL、SEKAI NO OWARI(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 桑田佳祐、福山雅治、大泉洋、DEAN FUJIOKA、佐藤健、吉高由里子など

<営業収入>

- ・ イベント収入は増加
 - (前年同四半期はPerfume(5-11月)、SEKAI NO OWARI(4-6月)のコンサートツアー、BABYMETALのウエンブリー公演(4月)・東京ドーム公演(9月)、ポルノグラフィティの横浜スタジアムライブ(9月)、ONE OK ROCKの渚園野外ライブ(9月)、福山雅治のファンクラブイベント東京ドーム公演(9月)・年末ライブ(12月)、桑田佳祐の年末ライブ(12月)、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版・来日版(7-11月)、熱海五郎一座(6月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(音楽パッケージ、グッズ・商品収入)が減少
 - (前年同四半期はコンサートグッズ、BABYMETALアルバムCD・ライブDVD、ONE OK ROCKライブDVDなど)
- ・ 印税収入(新譜)が減少
 - (前年同四半期はサザンオールスターズライブDVD、PerfumeアルバムCD、BABYMETALアルバムCDなど)

上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入11億2千5百万円(前年同四半期比9.3%減)、セグメント損失4千9百万円(前年同四半期は1千2百万円のセグメント損失)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入:「プラージュ」、「深夜食堂 第4部」、映画「続・深夜食堂」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入:福山雅治主演映画「三度目の殺人」劇場配給分配収入
福山雅治主演映画「SCOOP!」劇場配給分配収入、DVD販売分配収入
神木隆之介が主演声優を務めたアニメーション映画「君の名は。」DVD販売分配収入
- ・ 番組制作収入:星野源主演ドラマ「プラージュ」の番組制作収入

<営業収入>

- ・ 番組制作収入は増加
(当期は星野源主演ドラマ「プラージュ」の番組制作収入)
- ・ 劇場配給分配収入が減少
(前年同四半期は「君の名は。」、「バクマン。」、「岸辺の旅」、「俳優 亀岡拓次」、「世界から猫が消えたなら」劇場配給分配収入など)

上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入19億2千1百万円(前年同四半期比19.2%減)、セグメント利益6億9千1百万円(前年同四半期比30.9%減)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

原盤印税、著作権印税の減少などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入17億2千6百万円(前年同四半期比1.3%増)、セグメント損失7百万円(前年同四半期は8億4千1百万円のセグメント損失)となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーのグッズ販売収入が好調であったことなどにより若干の増収となりました。

<セグメント利益>

前期に計上した減損損失により減価償却費の負担が少なくなり、大幅な利益改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	38,206	39,375	1,169
純資産 (百万円)	25,102	26,243	1,140
自己資本比率 (%)	61.7	62.7	1.0
1株当たり純資産 (円)	1,366.09	1,428.92	62.83

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は393億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千9百万円増加いたしました。主な要因は、流動資産「現金及び預金」の減少はありましたが、流動資産「受取手形及び営業未収入金」及び投資その他の資産「投資有価証券」の増加が上回ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は131億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千8百万円増加いたしました。主な要因は、流動負債「未払法人税等」の減少はありましたが、流動負債「営業未払金」の増加が上回ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は262億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は62.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,100,934	18,955,212
受取手形及び営業未収入金	4,641,009	7,391,894
商品及び製品	1,778,657	1,934,744
仕掛品	1,141,901	1,789,367
原材料及び貯蔵品	95,357	101,068
その他	1,952,394	2,800,669
貸倒引当金	△145,568	△926,709
流動資産合計	31,564,685	32,046,248
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,010,082	977,218
土地	1,528,824	1,526,545
その他(純額)	251,941	215,395
有形固定資産合計	2,790,848	2,719,159
無形固定資産		
のれん	544,223	453,999
その他	231,880	245,785
無形固定資産合計	776,104	699,784
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548,910	2,317,271
その他	1,729,737	1,802,672
貸倒引当金	△204,159	△209,575
投資その他の資産合計	3,074,488	3,910,369
固定資産合計	6,641,441	7,329,313
資産合計	38,206,127	39,375,561

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	8,372,959	9,697,056
未払法人税等	1,480,542	569,858
役員賞与引当金	29,000	—
従業員株式給付引当金	—	12,050
返品調整引当金	5,000	3,100
ポイント引当金	18,461	17,613
その他	2,135,308	1,735,334
流動負債合計	12,041,271	12,035,013
固定負債		
退職給付に係る負債	976,564	989,026
役員株式給付引当金	—	36,859
その他	85,584	71,501
固定負債合計	1,062,149	1,097,388
負債合計	13,103,420	13,132,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	2,109,793	2,096,355
利益剰余金	21,179,696	22,303,062
自己株式	△1,321,284	△1,287,764
株主資本合計	23,556,031	24,699,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,262	39,987
為替換算調整勘定	△22,696	△51,248
その他の包括利益累計額合計	22,565	△11,261
非支配株主持分	1,524,110	1,554,942
純資産合計	25,102,706	26,243,160
負債純資産合計	38,206,127	39,375,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収入	35,608,008	33,771,859
営業原価	28,287,455	26,379,813
営業総利益	7,320,553	7,392,045
返品調整引当金戻入額	3,800	1,900
差引営業総利益	7,324,353	7,393,945
販売費及び一般管理費	4,198,300	5,018,376
営業利益	3,126,052	2,375,568
営業外収益		
受取利息	1,933	2,747
受取配当金	5,560	11,386
為替差益	—	79,239
受取手数料	9,654	9,794
事業組合投資利益	—	40,419
持分法による投資利益	21,537	—
その他	42,246	42,614
営業外収益合計	80,931	186,201
営業外費用		
為替差損	13,516	—
事業組合投資損失	37,495	—
持分法による投資損失	—	121,207
その他	15,216	4,099
営業外費用合計	66,228	125,307
経常利益	3,140,755	2,436,462
特別利益		
投資有価証券売却益	—	426,585
特別利益合計	—	426,585
税金等調整前四半期純利益	3,140,755	2,863,048
法人税、住民税及び事業税	1,264,136	1,156,447
法人税等調整額	146,564	125
法人税等合計	1,410,700	1,156,573
四半期純利益	1,730,054	1,706,474
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,737	144,119
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,758,792	1,562,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,730,054	1,706,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,514	△5,654
為替換算調整勘定	△77,555	△28,027
持分法適用会社に対する持分相当額	—	380
その他の包括利益合計	△64,040	△33,301
四半期包括利益	1,666,014	1,673,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,702,298	1,528,528
非支配株主に係る四半期包括利益	△36,284	144,643

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	30,284,237	1,240,680	2,378,652	1,704,438	35,608,008	—	35,608,008
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	76,523	194,663	271,146	45,370	587,703	△587,703	—
計	30,360,760	1,435,344	2,649,798	1,749,809	36,195,712	△587,703	35,608,008
セグメント利益 又は損失(△)	3,699,795	△12,550	999,996	△841,596	3,845,644	△719,592	3,126,052

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△719,592千円には、セグメント間取引消去16,402千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△735,994千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	28,998,722	1,125,223	1,921,077	1,726,835	33,771,859	—	33,771,859
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	74,899	90,246	209,466	44,234	418,846	△418,846	—
計	29,073,622	1,215,469	2,130,544	1,771,069	34,190,705	△418,846	33,771,859
セグメント利益 又は損失(△)	2,595,902	△49,452	691,433	△7,654	3,230,230	△854,662	2,375,568

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△854,662千円には、セグメント間取引消去8,752千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△863,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。